

特定非営利活動法人
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

2014 年度法人総会 議案書



※写真（左上から時計回りに）

江戸川区環境フェア出展の様子／えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”2号機／青梅小水力発電プロジェクトのらせん式水車／市民・地域共同発電所全国フォーラム

第1号議案 2013年度事業報告

第2号議案 2013年度会計決算報告

第3号議案 2014年度事業計画（案）

第4号議案 2014年度会計予算（案）

2014年5月24日 13:00～14:00

タワーホール船堀・401 会議室

第1号議案 2013年度事業報告

2013年度は、脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信をテーマに活動してきた。2012年度から取り組んできた「えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”」は、1号機・2号機の発電がスタートし、ほぼ想定通りの実績をあげることができた。これをきっかけに、全国フォーラムでの事例報告のほか、市民・地域主導で発電事業をめざす各地域との連携・交流の機会が生まれた。また、脱原発や震災をテーマとした他団体主催のイベントに積極的に関わることで本会の活動を多くの人々に伝えることができた。

組織運営面では、発電事業に伴う収益事業の開始に対応して定款や会計の整備を行ったほか、単年度の事業計画では対応できない活動が増えてきたため中期計画づくりに向けたワークショップを行い課題の洗い出しを行った。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

会員向けの省エネ家電買い替えサポート事業については、返済状況を確認したところ未返済者がいたため、返済状況を整理した。省エネアクションについては、えどがわエコセンター・低炭素社会づくり委員会を通じて、省エネナビによる節電チャレンジやみどりのカーテンづくり等の事業に積極的に関わり、一定の節電効果を上げることが確認できた。

また、生活クラブ生協が設立する「生活クラブエナジー（仮称）」での事業に向けた省エネゲームのデータ更新に協力することとなった。

<自己評価>

返済状況の追跡・確認が十分で無かったことが反省点。省エネ事業の再構築に向けた検討が必要。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

7月にオーナー型による市民発電事業の見学会を共同開催すると共に、2月には地球温暖化問題学習会を開催した。また、8月に行った板取ツアーにおいて皮むき間伐を実践することができた。このほか、江戸川総合人生大学や生活クラブ生協・東京、エネルギーシフトを実現する狛江市民の会が主催する学習会に出講し、エネルギー問題等に関する解説を行った。

また、子どもやその親向けに脱原発・低炭素社会実現の可能性を発信していくため、エコポイント環境寄附を活用して『ハルナのちから』の紙芝居を作成した。

<自己評価>

自主企画への参加者が少なかった。紙芝居の活用など集客改善に向けた企画の練り直しが必要。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

新たな発電事業の開始により、生協や市民団体、地方議員等4件の視察を受け入れると共に、「おがわまち自然エネルギーファーム」「川崎フューチャーネット」の学習会に出講し、事業スキーム等を解説した。また、9月には市民共同発電所全国フォーラム2013、3月には低炭素いちかわプロジェクトWSで事例報告を行った。

<自己評価>

えど・そら事業が小規模発電事業のスキームとして評価された。拡散に向けたグッズが必要。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

江戸川区の地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」（2012年度終了）の次期計画の策定に向けた提言について、政府の計画策定を待つ江戸川区に動きが見られなかったことか

ら提言には至らなかった。一方、10月には東京都総務局からヒアリングを受けると共に、1月には日本共産党都議団に市民発電事業の状況について報告を行い、支援制度の必要性について提言を行った。また、生活クラブ生協・東京による都内自治体のエネルギー政策調査について協力した。

<自己評価>

政策提言に向けて気候ネットワーク等他団体との連携を強め、発信力の向上に努めたい。

5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワーク、ストップフロン全国連絡会の運営に参画すると共に、気候ネットワークや「eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）」が主催する行動やキャンペーン等に随時参加してきた。また、東アジア環境情報発信所を通じて、6月と11月に日本・中国・韓国の市民団体による「東アジア気候フォーラム」に参加、日本の市民発電事業等について報告した。

<自己評価>

他団体主催のキャンペーンに参加したが、会の活動周知が十分ではなかった。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

江戸川区区内において、6月に開催された環境フェアに出展すると共に、「さようなら原発江戸川連絡会」「放射能と原発をなくす江戸川連絡会」等の団体との提携を進め、講演会や映画上映など4本の企画で実行委員会メンバーとして関わった。また、都内外で市民発電事業を行う環境NPOや事業者と積極的に交流・連携すると共に、2月に発足した市民電力連絡会でも運営委員を担うことになった。

<自己評価>

市民・NGOとの連携交流は進んだが、政府機関・自治体・事業者とは連携交流に至らなかった。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

会報『あしもと通信』を4回（Vol.73～76）計画的に発行することができた。ホームページについては適宜更新できなかったが、10月に公式フェイスブックを立ち上げ、運営委員会や参加イベント等の様子を適宜提供することができた。

調査研究では、9月に青梅小水力発電プロジェクトへの視察を行うと共に、一般社団法人地域生活研究所の共同研究「持続可能な地域づくりに向けた消費者による主体的な電力選択の可能性」に参加し、3月には発送電分離がなされている屋久島の状況を調査し、『あしもと通信』等を通じて情報提供を行った。

<自己評価>

ホームページ担当を決め、端末も購入したが、分担された役割を担う体制が十分でなかった。

●その他の活動に係る事業

1. 発電にかかる事業

えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”は、4月に1号機（10.48kW）、7月に2号機（11.52kW）が発電を開始した。発電した電力は全て東京電力が買い取り、昨年度の総発電量は1号機で冬季に発電量の低下が発生したものの想定より7%多い約2万3千kWh、売電収入は約98万円であった。事業経過としては概ね順調に推移するものと見られ、この結果から借入金900万円について9年以内の償還が可能と考えられる。

市民立・江戸川第2発電所（ほっと館）の太陽光発電パネルが経年劣化による発電量低下が見られたため、新しい発電パネルへのリニューアル工事を行った。

<自己評価>

概ね想定通りの発電量を確保できたが、発電量低下等のトラブルを招いてしまった。

2013年度事業活動日誌

- 4月18日 えど・そら1号機が発電開始
25日 ●第1回運営委員会
- 5月12日 2013年度定期総会+ドイツ訪問報告会
19日 ストップフロン全国連絡会総会に出席
20日 ●第2回運営委員会
- 6月01日 江戸川区環境フェアに出展
13日 ※生活クラブ生協・神奈川が「えど・そら」1号機を視察
14日 東アジア気候フォーラム2013(中国杭州)に参加
19日 ●第3回運営委員会
28日 さよなら原発江戸川連絡会・講演会「ビキニから福島が見える」に参加
- 7月10日 えど・そら2号機が発電開始
13日 山梨ソーラーシェアリングツアーを開催
17日 ●第4回運営委員会
- 8月16日 夏の板取ツアー(～19)
24日 ◇千葉県立船橋芝山高校より取材
- 9月08日 ◇おがわまち自然エネルギーファーム学習会に出講
18日 ●第5回運営委員会
19日 映画『逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者』上映会に参加
21日 ◇市民・地域共同発電所全国フォーラム=京都市(～22)に参加、出講
23日 青梅小水力発電プロジェクトを視察
24日 ◇PV-Netから発電事業に関するヒアリング
28日 エコメッセ千葉・パネルディスカッション「千葉から広がる自然エネルギー」に参加
◇台湾雑誌『遠見』9月号に取材記事掲載される
- 10月11日 ◇東京都総務局行政部から発電事業に関するヒアリング
18日 フェイスブックページを開設
23日 ●第6回運営委員会
25日 市民ソーラー情報交換会に参加
27日 気候ネットワーク理事会に出席
- 11月05日 ◇地域生活研究所研究会「地域から切り拓く未来のエネルギー」に出講
13日 ●第7回運営委員会
15日 さよなら原発江戸川連絡会第3回総会に出席
16日 ◇生活クラブ東京・ピアフェスタ「市民の力でつくる自然エネルギー」に出講
19日 東アジア気候フォーラム=中国雲南省に参加(～24)
25日 ◇放射能と原発をなくす江戸川センター学習会に出講
- 12月02日 映画『渡されたバトン～さよなら原発』関係者向け試写会に参加
14日 ※地域から未来をつくるひがし広場が「えど・そら」2号機を視察
18日 ●第8回運営委員会
- 1月06日 ◇共産党都議団に出講
15日 ●第9回運営委員会
17日 ※福島県矢吹町議4名が「えど・そら」2号機を視察
28日 ◇川崎フューチャーネット学習会に出講
29日 ◇江戸川総合人生大学に出講
- 2月01日 さよなら!原発リレートーク「未来への希望、市民の選択」に参加
11日 地球温暖化問題学習会を開催
19日 ●第10回運営委員会
21日 市民電力連絡会(関東)発足記念フォーラムに参加
- 3月03日 映画『渡されたバトン～さよなら原発』上映会に参加
08日 ◇低炭素いちかわプロジェクトWSで事例報告
09日 ※原発いらない江東区のひとたちが「えど・そら」1号機を視察
13日 屋久島ヒアリング調査に参加(～15)
16日 ◇エネルギーシフトを実現する狛江の会学習会に出講
- 3月30日 ●第11回運営委員会+中期計画づくりWS

第2号議案 2013年度会計決算報告

1) 活動計算書

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 会員会費収入 会費(支持・運営)	27,000	0	27,000
2. 寄付金収入	137,535		137,535
3. 補助金・助成金	0	0	0
4. 売電事業収入 売電売上	0	1,147,136	1,147,136
市民ソーラ仲介収入	0	24,200	24,200
5. その他収入 教材売上等	9,914	0	9,914
受取利息		549	549
経常収益計	174,449	1,171,885	1,346,334
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	0	0	0
(2) その他経費			
荷造運賃	17,438	17,438	34,876
会議費	1,307	1,308	2,615
旅費交通費	1,300	1,300	2,600
通信費	26,964	61,436	88,400
消耗品費	18,239	76,314	94,553
諸会費	20,000	16,000	36,000
支払手数料	28,632	28,632	57,264
地代家賃	0	25,200	25,200
支払報酬料	5,460	36,540	42,000
教材費	3,700	0	3,700
印刷費	16,665	16,665	33,330
減価償却費	0	890,165	890,165
雑費	0	2,520	2,520
2. 管理費			
(1) 人件費	0	0	0
(2) その他経費			
荷造運賃	8,722	8,722	17,444
交際費	7,500	7,500	15,000
通信費	10,457	10,457	20,914
消耗品費	4,019	4,019	8,038
水道光熱費	3,387	3,387	6,774
諸会費	6,500	6,500	13,000
支払手数料	14,321	14,321	28,642
地代家賃	18,000	18,000	36,000
印刷費	8,335	8,335	16,670
経常費用計	220,946	1,254,759	1,475,705
当期経常増減額	-46,497	-82,874	-129,371
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	-46,497	-82,874	-129,371
法人税住民税及び事業税			-70,110
当期正味財産増減額			-199,481
前期繰越正味財産額			3,012,000
次期繰越正味財産額			2,812,519

2) 貸借対照表

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	59,670	
普通預金	3,048,317	
売掛金	170,002	
立替金	5,100	
流動資産合計		3,283,089
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
構築物	8,137,935	
有形固定資産計	8,137,935	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
長期貸付金	550,000	
投資その他の資産計	550,000	
固定資産合計		8,687,935
資産合計		11,971,024
II 負債合計		
1. 流動負債		
未払金	88,505	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		158,505
2. 固定負債		
えど・そら債	9,000,000	
固定負債合計		9,000,000
負債合計		9,158,505
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,012,000
当期正味財産増減額		-199,481
正味財産合計		2,812,519
負債及び正味財産合計		11,971,024

3) 財産目録

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
手元現金	59,670	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行 小松川支店	2,021,609	
小松川信用金庫 菅原橋支店	845,751	
ゆうちょ銀行 振替口座	180,957	
売掛金		
NPO法人 ほっとコミュニティえどがわ	80,871	
寿光院	89,131	
立替金(総会用会議室予約金)	5,100	
流動資産合計		3,283,089
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
構築物(太陽光パネル3台)	8,137,935	
有形固定資産計	8,137,935	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産		
長期貸付金	550,000	
省エネ家電買換サポート融資)		
投資その他の資産計	550,000	
固定資産合計		8,687,935
資産合計		11,971,024
II 負債合計		
1. 流動負債		
未払金		
ほっと館・寿光院 屋根使用料	25,200	
ファーム地代家賃等	42,000	
経費未精算分	21,305	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		158,505
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	5,000,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
固定負債合計		9,000,000
負債合計		9,158,505
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,012,000
当期正味財産増減額		-199,481
正味財産合計		2,812,519
負債及び正味財産合計		11,971,024

第3号議案 2014年度事業計画案について

★脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信

えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”のスタートは、他地域での市民・地域主導による再生可能エネルギー発電事業立ち上げの動きと相まって、脱原発・低炭素社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出した。ところが、原発の再稼働や現状維持を前提としたエネルギー基本計画の策定の動きや政府首脳の発言をみると、国政の動きが脱原発・低炭素社会の実現に向けた最大の阻害要件となっている。これを乗り越えるには、硬直化したエネルギー供給システムの元で重い負担を強いられている家庭や中小事業者、それらを含めた地域での実践と普及が不可欠である。一方で、自然エネルギー発電事業を指向する個人・団体のネットワーク組織「市民電力連絡会」の結成や生協におけるエネルギー事業参入の動きなども起きつつある。

本会としても、そうした動きの一翼を担うため、発電事業にとどまることなく、省エネ・節電につながるキャンペーンや啓発教育の事業化、他団体との連携や発信力の充実強化が求められる。また、そうした活動を担える体制づくりも必要である。今年度は、昨年度末に開催した中期計画づくりWSの結果を踏まえ、2015年度から5カ年程度の中期計画を検討しながら、新たな事業展開を模索していく。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

省エネ家電買い替えサポート事業における未返済者への督促を行い、一定の整理を行う。また、生活クラブ生協による省エネゲームのリニューアルに協力する。えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わっていく。新たな省エネアクションの可能性について検討する。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

5月に総会記念セミナーやオーナー型市民発電所の見学ツアーを開催すると共に、6月には江戸川区環境フェアに出展し、地球温暖化問題やエネルギー問題について情報を発信していく。また、他団体が主催するセミナーや学習会への講師派遣を行う。eシフトなどが主催するエネルギー問題に関するキャンペーンに参加していく。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を受け入れると共に、市民・地域主導による自然エネルギー発電事業を指向する個人・団体のネットワーク組織「市民電力連絡会」に参加し、経験交流や課題の共有を図る。また、えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”を紹介するパンフレットを作成する。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会を通じて江戸川区地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」の次期計画策定に関わると共に、気候ネットワークやeシフトなどが企画・主催する政策提言活動に参加する。

5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に参画すると共に、それらを含む団体が主催する地球温暖化問題に関わる会議やキャンペーンに積極的に参加する。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

市民・地域主導による自然エネルギー発電事業を指向する個人・団体や本会の事業活動に関心を持つ自治体や社会団体、市民との交流や連絡提携を積極的に行う。また、島根原発3号機訴訟や原発メーカー訴訟などエネルギー問題に関わる社会的な問いかけの動きを引き続き支援していく。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

『あしもと通信』の計画的な発行に努める。また、ホームページのあり方（コンテンツ・更新頻度・役割分担）を見直すため、広報委員会で検討していく。昨年度末に開催した中期計画づくりWSの結果を踏まえ、2015年度から5カ年程度の中期計画を検討していく。必要に応じて地球温暖化問題やエネルギー問題に関する調査研究や情報の収集を行う。

●その他の事業

1. 発電にかかる事業

えど・そら1号機の冬季における発電量低下に対応するため、設置業者の負担の元に、夏までに太陽光発電パネルの位置を変える改修工事を行う。また再発防止に向けて、発電量のチェックを随時行う。また、借入金償還に向けて、提供する消費財・サービスなどのメニュー開発を進める。

2. 特定非営利活動に関連する事業の委託

一般社団法人地域生活研究所の共同研究「持続可能な地域づくりに向けた消費者による主体的な電力選択の可能性」が3月に行った屋久島における発送電分離の状況調査について、5月の総会記念セミナーでの発表を山崎理事に委託する。

第4号議案 2014年度予算案について
活動計算書

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 会員会費収入 会費(支持・運営)	80,000	0	80,000
2. 寄付金収入	150,000		150,000
3. 補助金・助成金	0	0	0
4. 売電事業収入 売電売上	0	1,350,000	1,350,000
市民ソーラ仲介収入	0	20,000	20,000
5. その他収入 教材売上等	10,000	0	10,000
受取利息		500	500
経常収益計	240,000	1,370,500	1,610,500
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	0	0	0
(2) その他経費			
荷造運賃	20,000	20,000	40,000
会議費	2,000	2,000	4,000
旅費交通費	2,000	2,000	4,000
通信費	30,000	60,000	90,000
消耗品費	20,000	80,000	100,000
諸会費	20,000	16,000	36,000
支払手数料	30,000	30,000	60,000
地代家賃	0	25,200	25,200
支払報酬料	6,000	40,000	46,000
教材費	5,000	0	5,000
印刷費	20,000	20,000	40,000
減価償却費	0	960,000	960,000
雑費	0	5,000	5,000
2. 管理費			
(1) 人件費	0	0	0
(2) その他経費			
荷造運賃	10,000	10,000	20,000
交際費	7,500	7,500	15,000
通信費	20,000	20,000	40,000
消耗品費	5,000	5,000	10,000
水道光熱費	5,000	5,000	10,000
諸会費	7,000	7,000	14,000
支払手数料	15,000	15,000	30,000
地代家賃	18,000	18,000	36,000
印刷費	10,000	10,000	20,000
経常費用計	252,500	1,357,700	1,610,200
当期経常増減額	-12,500	12,800	300
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	-12,500	12,800	300
法人税住民税及び事業税			-70,110
当期正味財産増減額			-69,810
前期繰越正味財産額			2,812,519
次期繰越正味財産額			2,742,709

※返済積立金として900,000円を積み立てる予定である。